

## 浪江町棚塩ラック式ントリーエレベーター落成式

10月26日、9月に行われた苅宿地区に続いて、棚塩地区においてもントリーエレベーター(※)の落成式が執り行われました。

今年の水稲作付面積は震災前の1割程度となる約170ヘクタールですが、来年の作付面積は200ヘクタールを超える見込みです。このントリーエレベーターが、営農再開および新規就農者の皆さんを大きく後押しするものになると期待されます。

※ントリーエレベーターは、もみや玄米を保管し、乾燥・計量・出荷・精米などができる施設で、本施設(ラック乾燥設備)は、収穫した生もみを1トンごとに乾燥することができます。



☎農林水産課農政係 ☎0240(34)0245

## 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)から皆さんへ

「東京電力から示された金額では納得できない」など、原発事故による損害賠償請求において困っている人を対象に、中立・公平な公的機関「ADRセンター」が無料で仲介します。

☎0120(377)155 (月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)10時～17時)

### 《和解事例》 生活費の増加費用などを賠償

居住制限区域(浪江町)に居住していた申立人について、原発事故により、同居していた父母と別々に避難したことや、自家栽培していた米や野菜を原発事故後は購入しなくなることなどを考慮して1年11か月分の日常生活阻害慰謝料(増額分)や生活費増加費用が認められました。

また、財物損害(農機具)について、直接請求(東京電力算定)に加えて、賠償の対象となる農機具の範囲、取得価格、取得後原発事故までの経過年数、残価率などを見直し、追加賠償されました。

【公表番号1698 令和2年7月13日成立】

### 《和解事例》 父母の面会交通費などを賠償

居住制限区域(浪江町)から福島市に避難した申立人について、原発事故前は車で5分の場所に居住し、週に数回面会していた申立人の実父母がいわき市へ避難したことにより、実父母に面会する費用がかかったとして、1年3か月分の面会交通費が賠償されました。また、避難生活中に幼児の世話をしたことなどを考慮し、福島市に建築した新居に転居するまでの2年3か月分の日常生活阻害慰謝料の増額(平成23年3月分につき6万円、同年4月分以降は月額3万円)が認められました。

さらに、申立人が原発事故前から予定していた結婚式を県外で行わざるを得なくなったとして、挙式場所までの移動費用(往復分)が東京電力の直接請求における算定基準により賠償されました。

【公表番号1707 令和2年8月18日成立】

☎総務課賠償支援係 ☎0240(34)4638

ここからは広告です。



住んでいたいまち  
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの  
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします

みんなで  
ともに  
乗り越えよう

## 震災遺構浪江町立請戸小学校開館記念式典

10月24日、浪江町立請戸小学校が震災遺構として開館し、記念式典が執り行われました。

この施設は、東日本大震災の脅威や教訓とともに地域の記憶や記録を後世に伝え、防災意識の向上に資することを目的として整備されました。

式典の中では、請戸芸能保存会の皆さんによる「田植踊」が披露されたほか、請戸小学校の卒業生による挨拶があり、請戸地区の歴史や伝統を風化させないという思いが述べられました。



テープカットの様子



田植踊が映えしました



請戸小学校の全体像

☎教育委員会事務局郷土文化係 ☎0240(34)0253

## 米国ランカスター市と連携

10月1日、いこいの村なみえにおいて、オンラインによるアメリカ合衆国カリフォルニア州ランカスター市との「水素社会の実現に向けた自治体パートナーシップ宣言」に調印しました。自治体レベルでの連携は世界初となります。

今後ランカスター市と浪江町では、脱炭素化に向けた取組を促進し、水素社会の実現に向けて、連携、協力を深めていきます。

☎企画財政課 ☎0240(34)3657



ランカスター市長と吉田町長

## バイオマスレジンは福島との「工場立地に関する基本協定」を締結



渡佐寿彦代表取締役 (左)

問 産業振興課産業創出係  
Tel 0240(34)0248

10月8日、株式会社バイオマスレジンは福島と「工場立地に関する基本協定」を締結しました。

町内に整備した北産業団地で初めての立地となる同社は、約2.11ヘクタールの区画にお米（非食用米）から作るバイオプラスチック「ライスレジン<sup>(※)</sup>」を製造する工場を建設し、令和4年8月に操業、初年度には10～15人程度の雇用を計画しています。

協定式で渡佐寿彦代表取締役は、「生産する素材自体も脱炭素、生産工程での脱炭素化も行うことで、社会と地域に恩返しができ、地元貢献もできると考えている。バイオマスレジンは福島一同しっかり取り組んでいきたい。」と話しました。

※ライスレジンは、お米を原料とするため、地上の二酸化炭素の増減に影響を与えず、従来のプラスチックと同等のコストや成形性、強度を持つバイオマスプラスチックの予定です。

## 国内最大級バナジウムレドックスフロー電池向け 電解液工場が竣工

9月28日、上ノ原地区の浪江日立化成工業跡地でLEシステム株式会社浪江工場が竣工しました。

佐藤純一代表取締役は挨拶の中で、浪江町と共に歩いていくという熱い志を示しました。

浪江工場は、再生可能エネルギーの普及に係る蓄電池のひとつとして注目を集めている「バナジウムレドックスフロー電池」に使用される「バナジウム電解液」の生産を行う工場となり、国内外を通して注目を集めています。

工場では、旧浪江日立化成工業の従業員も働いていて、浪江町への住民帰還の一助となっています。



佐藤純一代表取締役 (左から2番目)

問 産業振興課産業創出係 Tel 0240(34)0248

## 年末年始 ～施設休館・ごみ収集日にご注意を～

問 住民課除染環境係  
Tel 0240(34)0228

●ごみステーション（帰還困難区域を除く）の収集および北部衛生センターの業務は、12月29日(水)から1月3日(月)まで休みます。なお、12月30日(木)のみ、可燃ごみに限り臨時収集を行いますので、時間を守り所定の場所に出してください。

問 教育委員会事務局生涯学習係  
Tel 0240(34)3941

●浪江町地域スポーツセンターは、12月29日(水)から1月3日(月)まで休館します。

問 仮設津島診療所  
Tel 0243(24)1431

問 浪江診療所  
Tel 0240(23)6173

●浪江診療所・仮設津島診療所は、12月29日(水)から1月3日(月)まで休診します。内服している薬の残量に注意し、余裕を持って受診してください。

問 総務課行政係  
Tel 0240(34)0235

●戸籍関係届出書の收受  
※住民票の写しなど、各種証明書の発行はできません。

■日直受付時間  
8時30分～17時15分

■日直対応業務

●浪江町役場（各出張所、浪江にじいりこども園を含む）は、12月29日(水)から1月3日(月)まで業務を休みます。閉庁中は、本庁舎のみ日直が対応します。